



竜北通信

自学感動

甲斐市立竜王北中学校
学校だより

発行 校長 青柳 香

令和8年度 No. 6

2026. 8. 31

■ 2 学期スタート

～「当たり前」の日常」に感謝し、自分の殻を破る 2 学期へ～

8 月 28 日(金)に始業式を行い、いよいよ 2 学期がスタートしました。式に臨む生徒たちの真剣なまなざしからは、この夏休みを越えた確かな成長と、新学期に向けた意気込みが感じられました。三名の学年代表の生徒から「夏休みの振り返りと 2 学期の決意」が発表されました。



私は、この夏休みでたくさんの人との交流をすることができました。部活動では先輩達との交流の中で色々な人とともに活動していく中での礼儀やあいさつをすることの大切さを学びました。夏休みに部活があるのは、初めてだったので大変だったこともありましたが頑張ることができました。他にも私は競技かるたというものを頑張っているのですが、私は、夏休み中にあった中学生選手権三人団体戦で山梨チームとして他の学校の仲間とともに出場しました。私は中学生だけの団体戦は初めてだったので緊張したのですが、同じチームの上級生に声をかけてもらい、何とか勝つことができました。私はこの大会でチームメイトとたくさんの経験をすることができました。百人一首の歌の一つに「ちはやぶる 神代も聞かず 龍田川 からくれないに 水くくるとは」という歌があります。この歌にでてる「ちはやぶる」には、勢いが激しいという意味があります。私は一学期に、自分がまだやったことのない新しい挑戦をし、全力を出してきました。ですが私たちの学校生活にはこの歌のように情熱と勢いを持って取り組むことがたくさんあります。私は、夏休みの中で成長したことを活かして二学期では、自分から行動を起こし自分の方から進んで物事に取り組んでいきたいです。そして、二学期には紫龍祭があります。どれも、何も考えずに過ごしてはあっという間に過ぎ去ってしまいます。なので、一日一日を大切に一学期よりもさらに笑顔があふれるよう一学年で協力して心をひとつにして、取り組んでいきたいです。「笑顔」で人と繋がり「炎」のように熱く目標に突き進む。この二つが私たちの新学期をさらに輝かせてくれると思います。互いを信じ笑顔溢れる思い出が作れるよう「ちはやぶる」のように全力でかけぬけていきたいです。

(1年 ○○○○)

二年生の一学期、私は、学習面でも生活面でも大きく成長することができました。学習面では、1 日の勉強時間を去年より増やしたことで、自分の目標を達成することができました。次は目標達成をキープすることと、さらに上を目指して頑張りたいです。また私は、クラスの学級会長になりました。仲間への声掛けを意識して行動することができ、気持ちの面でも大きく成長することができたと感じています。2 年 3 組の仲間と協力しメリハリがあり、周囲を大切にできるクラスをこれからも目指していきたいです。

学年では、学年生徒会として活動したことが印象に残っています。授業の前後のあいさつの声が大きくなったり、切り替えなどができるようになったり成長することができました。しかし、提出物を提出期限に間に合わない人がいたり、言葉づかいが気になる場面があったりしたので、二学期に改善できるように学年で取り組んでいきたいです。

二学期は、勉強、部活、ラグビーのクラブチームの活動全てをメリハリよく取り組んで、前向きに生活していきたいです。さらに、紫龍祭という大きな行事があるので、文化部門の学年劇と合唱、体育部門の競技も良い思い出になるよう、クラス、学年ともに力を合わせ、取り組んでいきたいです。

(2年 ○○○○)

私が今年の夏休みに一番頑張ったことは、吹奏楽コンクールです。私は吹奏楽部に所属しています。今年のコンクールでの目標は、西関東大会に出場することでした。(中略)そして本番では金賞を受賞し、山梨県代表として西関東大会に出場できることになりました。この経験から、応援してもらえんことのありがたさや温かさを実感しました。西関東大会では、皆さんの期待に応えられる演奏をしたいです。

二学期は、三年生にとって大切な時期です。紫龍祭などの大きな行事に加えて、進路選択や受験に向けた勉強も本格的になっていきます。中学校生活で一番といってもよいほど、忙しく大変な時期になると思います。これからは、今まで以上に勉強と学校行事の両立を意識していきたいです。勉強では、苦手な部分をそのままにせず、毎日忙しくても勉強時間 3 時間を目標に、受験に向けて努力していきたいです。また、学校行事では、三年生として行事を創っていくという意識と責任感を持ち、仲間と協力して最後までやり切りたいです。最後の紫龍祭だからこそ、「楽しかった」だけで終わらせるのではなく、「みんなでまた一歩成長できた」と実感できるものにしたいです。そして私は、二学期の三学年を、一人一人が誰かに任せられるのではなく、自分から考え、発言し、行動できる学年にしていきたいです。(中略)そのために、紫龍祭などの活動では、ただ言われたことをするだけではなく、「何のために取り組むのか」「終わったときにどんな姿になりたいのか」をみんなで共有することを大切にしたいです。目指す姿が分かれば、一人一人が自分にできることを考えて動きやすくなると思うからです。(中略)

私は吹奏楽コンクールを通して、目標に向かって努力することや、仲間と協力することの大切さを学びました。二学期はその経験を生かし、勉強でも学校行事でも、三学年の学年目標である「共創」を意識して、一人一人が自分から行動し、仲間と支え合いながら学年を創っていききたいです。そして、中学校生活最後の二学期を、後悔のないように過ごしていきたいです。

(3年 ○○○○)

校長からはまず、夏の自然災害のニュースに触れつつ、こうして安全に仲間と再会できた「当たり前の日常」への深い感謝を生徒たちと共有しました。また、この夏それぞれの舞台で全力を尽くした北中生の健闘を称えとともに、日頃から生徒を温かく支えてくださる保護者や地域の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

続いて、今学期新たな挑戦となる伝統の「紫龍祭」の分散開催について触れ、「9月に文化部門、10月に体育部門と時間を重ね、一人ひとりが主役として輝いてほしい」と呼びかけました。そして行事のみならず、日々の学習や生活の中で「自分の殻を一つ破ること」「昨日より一歩前に進むこと」の大切さを伝え、一日一日の丁寧な積み重ねこそが未来を創っていくのだという思いを贈りました。

式を終え教室に戻った生徒たちは、久しぶりの再会を喜び合い、夏休みの思い出を語り合いながら2学期の好スタートを切りました。1年の中で最も長く、成長の機会に満ちた2学期。生徒一人ひとりが主体的に可能性を伸ばしていけるよう、教職員一丸となって温かく支援してまいります。ご家庭・地域の皆様におかれましても、引き続き変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

■「チーム北中」

～これまでの成果が各種大会で発揮されました～

6月27日から7月30日にかけて、県総合体育大会や吹奏楽コンクールが開催されました。3年生にとっては仲間と挑む最後の大会です。各会場では、これまで汗を流してきた成果を遺憾なく発揮し、最後まで諦めずに戦い抜く熱いドラマが繰り広げられました。客席からの応援にも自然と熱が入る「チーム丸」の姿が見られました。

水泳競技での〇〇〇〇さんの3年連続関東大会出場や、吹奏楽部の西関東大会進出をはじめとする躍進は、北中全体の大きな誇りです。自分の限界に挑み続けた先輩たちの後ろ姿から、後輩たちも「北中イズム」のバトンをしっかり受け継いだことと思います。



*吹奏楽コンクールでは写真撮影ができず、掲載できません。

↑この写真は、山梨県水泳大会での様子です

■お願い

*お子様のことで何かありましたら学校へ連絡をお願いします。

●本校連絡先 甲斐市立竜王北中学校 〒400-0118 甲斐市竜王420
TEL 055-279-7200

〇4月13日付、4月15日にBLENDで配信した甲斐市教育委員会より配付されました「学校の働き方改革に伴う市内小中学校の電話対応について(お願い)」のご理解・ご協力をお願いします。夜間や早朝、休日に緊急に連絡を取りたい場合は甲斐市教育委員会学校教育課(Tel 055-278-1696)へご連絡ください。後ほど学校から折り返し連絡がいくことになっています。詳しくは配付通知でご確認ください。



本校HPはこちらからでも入れます。

※「本校HP」でも、各種の情報をお伝えしています。

※ 部活動に関して、欠席等の緊急連絡は、顧問の指示に従ってください。

甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり ～創甲斐教育を実践します。竜王北中学校